



2022年10月12日

各位

会社名 株式会社 チョダ
 代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
 (コード番号 8185 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役企画財務本部長 井上 裕一郎
 (TEL. 03-5335-4134)

棚卸資産評価損の計上及び2023年2月期第2四半期業績予想(連結・個別)と実績値との差異及び2023年2月期通期業績予想(連結・個別)に関するお知らせ

2022年4月13日に公表しました2023年2月期第2四半期業績予想(連結・個別)と、本日公表の実績値に差異が生じました。また、2023年2月期通期業績予想(連結・個別)を修正いたしましたのでお知らせします。

1、棚卸資産評価損の計上

店舗の商品鮮度の向上を目的として、仕入から一定の期間を超える商品を滞留在庫として、直近の販売実績に照らした販売可能性及び滞留在庫の判定を行った結果、棚卸資産評価損を2023年2月期第2四半期(累計期間)において、連結639百万円、個別557百万円を売上原価に計上いたしました。

2、第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

(1) 連結

2023年2月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異(2022年3月1日~2022年8月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	47,000	490	640	290	8.27
実績値(B)	46,268	△832	△714	△1,075	△30.68
増減額(B-A)	△732	△1,322	△1,354	△1,365	—
増減率(%)	△1.56	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	44,628	△1,665	△1,437	△2,544	△71.38

(2) 個別

2023年2月期第2四半期個別業績予想数値と実績値との差異(2022年3月1日~2022年8月31日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり四半期 純利益(円)
前回発表予想(A)	37,500	760	400	11.41
実績値(B)	37,286	△368	△680	△19.42
増減額(B-A)	△214	△1,128	△1,080	—
増減率(%)	△0.57	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	35,839	△1,002	△2,179	△61.15

3、差異の理由

靴事業では、コロナ禍に伴う外出自粛が緩和されたことにより、売上高は概ね計画通りに推移したものの、円安や燃料費の高騰の影響により、想定外の仕入価格や光熱費、物流費の上昇があったことで、売上総利益率が0.7pt計画未達となり、販売費及び一般管理費も計画比7億円超過し、営業利益が計画を下回りました。

衣料品事業は、販売費及び一般管理費の削減は計画以上となったものの、上海ロックダウンの影響に伴う商品の納期遅れで、ゴールデンウィーク商戦が低調となる等、売上は計画を下回って推移し、また、原材料費の高騰で売上総利益率も計画未達となりました。

以上の結果、業績予想数値と実績値との差異が発生いたしました。

4、2023年2月期通期業績予想（連結・個別）

(1) 連結

2023年2月期通期連結業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	94,000	780	1,050	100	2.85
今回修正予想 (B)	93,100	△1,600	△1,400	△2,250	△64.17
増減額 (B - A)	△900	△2,380	△2,450	△2,350	—
増減率 (%)	△0.96	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2022年2月期)	88,651	△4,387	△3,822	△3,980	△112.16

(2) 個別

2023年2月期通期個別業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益 (円)
前回発表予想 (A)	74,000	1,150	390	11.13
今回修正予想 (B)	74,000	△950	△1,650	△47.06
増減額 (B - A)	0	△2,100	△2,040	—
増減率 (%)	0.0	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2022年2月期)	70,496	△2,993	△3,216	△90.61

5、業績予想の理由

靴事業においては、引き続き円安による商品原価や光熱費等の高騰の影響が予想され、下期についても、売上総利益率は予想を下回って推移し、販売費及び一般管理費も超過することが見込まれることから、売上高は当初予想を据え置くものの、経常利益、当期純利益が当初の予想を下回る見通しとなりました。

衣料品事業も、第2四半期累計期間と同様に、売上高が予想を下回って推移することが見込まれることから、売上高、経常利益、当期純利益ともに当初の予想を下回る見通しです。

以上から、2023年2月期通期の個別業績予想ならびに連結業績予想を修正いたします。

尚、2022年4月13日に公表いたしました2023年2月期の配当予想額（中間14円、期末14円、年間28円）につきましては、変更しておりません。